

## 北陸情報通信協議会平成 24 年度定期総会を開催 ～北陸先端科学技術大学院大学の片山学長が特別講演～

北陸情報通信協議会（会長 永原 功 北陸経済連合会会長）は、平成 24 年 4 月 17 日（火）、KKR ホテル金沢において、平成 24 年度定期総会を開催しました。

冒頭、永原会長は、「北陸地域は豊かな観光資源や文化に恵まれ、平成 23 年 6 月の「能登の里山里海」の世界農業遺産登録認定、平成 26 年度末の北陸新幹線開業など将来的なチャンスが控える一方、人口の減少、高齢化、医師不足、地域経済の疲弊など様々な課題を抱えている。今後、協議会での調査研究活動を充実させ、ICT の利活用により地域の社会的課題解決に貢献していきたい。」と挨拶し、続いて、顧問の齊藤一雅北陸総合通信局長から、「当協議会は、時代のニーズにマッチした旬のテーマを掲げて、様々なセミナーやシンポジウムの開催に取り組んできた。また、平成 22 年度から、いずれも ICT と関わりの深い、「農林水産」、「医療・介護」、「観光」をテーマに部会を立ち上げ、精力的に活動を続けている。本日、審議される平成 24 年度の事業計画の中では「安心・安全」をテーマとする新たな部会の設置が提案される。東日本大震災以降、住民や企業等の方々の最大の関心事項となっている「安心・安全」、「事業継続（BCP）」、「危機管理」といった時代のキーワードに、北陸の ICT がどのように貢献していくことができるのか、非常に重いテーマだが、大いに期待したい。」と挨拶がありました。

引き続き、株式会社 NTT ドコモ北陸支社の澤井浩一企画経理部長を議長として議事を進行し、平成 23 年度事業報告、平成 23 年度決算報告、平成 23 年度会計監査報告、平成 24 年度事業計画（案）、平成 24 年度予算（案）、平成 24 年度役員（案）について審議が行われ、それぞれ満場一致で承認され、永原北陸経済連合会会長が会長に再任されました。



ICT の利活用により地域の社会的課題の解決に貢献していきたいと挨拶する永原功会長



新たに設置する「安心・安全部会」に期待を述べる  
齊藤一雅北陸総合通信局長

議事終了後、農林水産部会、医療・介護部会及び観光部会の各部会長から、平成 23 年度の調査研究活動について、発表が行われました。

特別講演では、片山卓也北陸先端科学技術大学院大学長から、「国際的な大学院を目指して」と題して、北陸先端科学技術大学院大学設立の経緯、国際化戦略の取組、その成果等について、ご講演をいただきました。



特別講演を行う片山卓也北陸先端科学技術大学院大学長



各部会の平成 23 年度の調査研究活動の発表

農林水産部会	(発表者) 部会長	金平勲	社団法人石川県情報システム工業会アドバイザー (左)
医療・介護部会	(発表者) 部会長	倉知圓	南砺市民病院名誉院長 (中央)
観光部会	(発表者) 部会長	堀俊和	福井大学工学部教授 (右)